

ギリシャ

パレスチナ人民に連帯しイスラエル国家の犯罪行為を強く非難する

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

同志諸君、1917年のロシア社会主義大革命107周年を記念して諸君が東京で開催する集会をたたえる。新しい時代、資本主義から社会主義への移行の時代の到来を告げた革命である。

十月革命は、世界をゆるがした。労働運動に推進力を与え、労働者階級の闘いとその前進、全大陸での共産党の創設に触媒として作用した。ソビエト社会主義共和国連邦は、全世界の被抑圧者にとって価値ある協力者であることを証明した。ソ連は、ファシズムを粉砕した最重要勢力だったし、植民地の崩壊に決定的に貢献した。

こんにち、反革命から33年が経過し、ソ連のない世界は、かつてブルジョワジーがよく言ったような平和で安全な世界にはなっていない。いよいよ残虐で危険なものとなっている。

パレスチナや中東、ウクライナ、スーダンなど、世界中で総計92か国を巻き込む56の紛争が続き、市場と天然資源、輸送路の支配をねらう独占間の対立の結果、諸人民は重い「血税」を払っている。アメリカ合衆国と中国の対立を背景とし、また、欧州大西洋帝国主義陣営と形成途上のユーラシア帝国主義陣営との対立を背景として、いっそうの全面戦争への懸念が高まっている。

武力紛争による死者の数は、過去15年間に482%増え、核兵器の使用がいま、公然と論議され、戦費が跳ね上がっている。EU（欧州連合）は公式に経済を戦時体制にしており、一方、NATO（北大西洋条約機構）はアジェンダ2030で新たな軍拡競争を推進している。

だが、人民は、まだ万事が休したわけではない。人民は、活用すべき大きな力を持っている。わが国では、労働者が戦争用の資材を積んだ列車を止めさせ、殺人国家イスラエル行きの弾薬を積む船舶の接岸を阻止して、2つの帝国主義戦争へのわが国の関与にこぞって反対していることを示した。2つの帝国主義戦争とは、すなわち、わが国がNATO側についているウクライナでの戦争とイスラエル側についている中東での戦争である。人民の子弟である若い徴集兵たちと軍隊の兵員たちが、帝国主義の計画と戦争へのわが国の関与に反対する姿勢を公然と示している。

われわれは、パレスチナ人民への国際連帯を強化し、イスラエル国家の犯罪行為を強く非難する。

われわれは、帝国主義の第一次世界大戦と十月革命に際してレーニンを先頭とするボルシェビキが示した態度から教訓を得る。

同志のあいさつを送る

アテネ、2024年10月31日

【訳＝杉本芳夫】

(見出しは編集部による)